

特集

環境と経済・社会の調和を目指す ゼロカーボン北海道

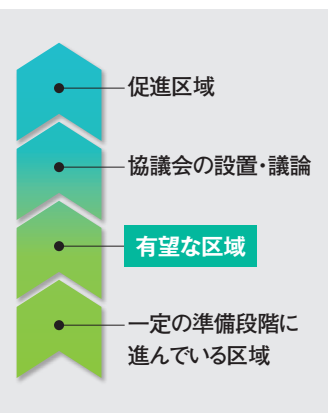
脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを目指す「ゼロカーボン北海道」。洋上風力発電をはじめ、道内各地で取り組みが進んでいます。特集に関するお問い合わせ／道庁ゼロカーボン産業課 TEL.011-204-5327

北海道は洋上風力発電の好適地

北海道の豊かな自然は、太陽光、地熱、バイオマスなどの多様なエネルギー源として、国内随一のポテンシャルを有しています。「ゼロカーボン北海道」の実現のためには、環境に十分配慮しながら、これらのポテンシャルを最大限に活用していく必要があります。北海道は全国的にも風力発電に適した風況が得られる地域です。中でも、海上に風車を設置して発電する洋上風力発電は、全世界で導入が拡大し、コスト低減が見込まれ、地域の経済波及効果も期待されることから、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた切り札として、近年期待が高まっています。そうした背景から、この5月、道内の5区域が国により再生可能エネルギー利用法における洋上風力発電の「有望な区域」に選定されました(図1)。今後は、国と道、市町村、漁業関係者などで構成される法定の協議会を設置し、促進区域の指定に向けて議論を進めていくこととなります(図2)。



【図1】洋上風力区域整理の状況(2023年9月30日現在)



【図2】促進区域の指定に向けたプロセス

協議会では、地域、漁業との共存共栄策や、漁業影響調査など、選定事業者に求める事項のほか、地域の将来像について議論し、全会一致で意見をとりまとめます。こうしたプロセスを経て、国から促進区域に指定されたのち、事業者の公募、選定が行われ、洋上風力発電施設の建設、運転へと進んでいきます。

石狩湾新港の洋上風力発電施設が 12月末に本格稼働

一方、一般海域とは別に、小樽市と石狩市にまたがる石狩湾新港では、港湾区域内において、国内最大級の洋上風力発電施設が建設され、この12月末に商用運転を開始する予定です。これらは再生可能エネルギー「会社のグリーンパワープラン」(本社・東京)の施設で、高さ約19.6mの大型風車を14基設置。年間で最大約8万3,000世帯分を発電できる能力を持ちます。

道ではこうした取り組みから得られるさまざまな知見も参考にしつつ、「有望な区域」の道内5区域をはじめとする洋上風力発電の導入に向けて検討を進めています。北海道のポテンシャルを発揮できる洋上風力発電の導入を進めることにより、関連産業の立地促進など環境と経済・社会の調和した北海道づくりにつながることが期待されています。



石狩湾新港での風車設置工事

興部町の取り組み

世界初の実用化に向けてバイオガスからギ酸とメタノールを製造
興部町では、酪農業・水産業を基幹とする1次産業のまち。2014年度にバイオマス産業都市に認定され、2016年から、町営の「興部北興バイオガスプラント」を中心に、バイオマス資源の活用に向けた取り組みを進めています。バイオガスプラントでは従来、家畜ふん尿をメタン発酵処理することにより、バイオガスを発生させ発電に利用してきました。

また、近年では、興部町と連携協定を結ぶ大阪大学が開発した技術を用い、バイオガスから常温・常圧でギ酸とメタノールを製造する取り組みを進めており、2022年、その実証拠点となる世界初の光化学プラントを同じ敷地内に設置しました。

今後はギ酸とメタノールを連続製造するシステムの実用化を行い、ギ酸は町内の酪農家向けに飼料添加剤として供給。メタノールは災害時の燃料利用などを視野に、エネルギーの地産地消を目指しています。

興部町まちづくり推進課
TEL.0158-82-2132



ギ酸とメタノールを製造する光化学プラント



道内の温室効果ガス排出量を2030年までに48%削減(2013年度比)、2050年までに実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」を進めています。

INTERVIEW

北海道での洋上風力発電の導入に向けて、海洋生態系に詳しい学識経験者にお話をうかがいました。



北海道大学北方生物圏フィールド科学センターセンター長・教授
みやたけ 和士 さん

地域の将来像を見すえた合意形成が重要です。

●日本では洋上風力発電の導入が進む背景と、北海道の優位性について教えてください。
日本はエネルギーの大半を輸入化石燃料に頼っていますが、持続可能な社会の実現を目指すうえで、再生可能エネルギーへの転換が急務とされています。そこで、世界的に普及の進む洋上風力発電が日本でも有望視され、資源の約3割が北海道に集中していることで注目が高まっています。

●海洋環境への影響で考えられることは？
いままでなかった場所に施設ができることになれば、影響はゼロではありません。例えば、海流の変化、稼働に伴う低周波音などの影響が考えられます。プラス面では、新たな水産資源が居つきやすい漁礁の効果もあるといわれています。また、風車によって景観も変化しますが、人工物が建つことを良く思わない人もいれば、再生可能エネルギーの拠点としてプラスにとらえる人もいます。要は、地域の中でいかに納得のいく議論をし、合意形成を行うかが重要なポイントだと思います。

●地域で理解を深めるために大切なことは？
科学的根拠に基づき、透明性の高い議論を進めることだと思います。漁業者はもちろん地域に住む皆さんが洋上風力発電の導入、検討を「自分ごと」として考え、自らの意思で判断することが大切です。北海道発の洋上風力発電が進むことは、エネルギーの地産地消につながります。環境・経済の両面で地域が恩恵を受けられるよう、将来像を見すえた合意形成が重要だと思います。

家庭のCO2排出量見える化アプリ 北海道ゼロチャレ! 家計簿

北海道は全国と比べて、家庭でのCO2の排出割合が高いことを存じずには、北海道全体での排出量を減らしていくには、道民の皆さん一人一人の取り組みが重要です。道では、環境省北海道地方環境事務所と連携し、家庭におけるCO2排出量を「見える化」できるスマートフォンアプリ「北海道ゼロチャレ家計簿」を開発しました。ぜひご利用ください。



CO2排出量などを見える化



環境忍者 えこ之助

インストールはこちら



11月30日まで、プレゼントキャンペーンを実施しています。詳しくはこちら。



地域おこし協力隊CAFÉ 紋別市

都会に住む人が課題を抱える市町村に移住し、才能や能力を発揮する地域おこし協力隊。今回は、無肥料無農薬による作物生産、食品加工・販売、食育活動を行う紋別市の隊員を紹介します。



有機栽培の難しいビートだから やりがいがある!!



ビートの収穫

兵庫県神戸市出身 寺岡 隆希さん
ロンドンに本店を持つオーガニックレストランで働きながら、人の健康を考えた農業、食品加工・販売を一貫してやりたと思っていました。協力隊として紋別市に移り住んだのは、条件の良い食品加工工場があり、自分が望む事業を展開できそうだったからです。現在、レストランで使えるような野菜を15~20種類ほど作っていますが、特に力を入れているのは、有機栽培が難しいビート。加工食品には湧き水を使用し、手作りシロップも、キムチの薬も、子育て世代に評判です。ロンドン大学で学んだ経験も生かし、食の大切さを広めるコミュニティづくりを目指しています。

高校生のマナビバ

新たな視点で学びを深める道内の高校生の話題をお届けします。

余市観光協会と協働して町内の観光サイクリングマップを制作

北星学園余市高等学校では、余市観光協会とサイクリングツーリズムを進める地域おこし協力隊と協働し、実際に走って確認したサイクリングルート、生徒たちのイラストやコメントを盛り込んだ「余市サイクリングマップ」を制作。訪れた観光客に、余市の景色や歴史、特産品を楽しんでもらえるように、マップは駅や観光協会などで配布しています。今年度は、新たなコースを追加したリメイク版の発行に向けて奮闘しています。

マップを作ったことで 「余市のすごい!」を知りました

北星学園余市高等学校2年 ボランティア局員
浜田 来未さん 富樫 乙華さん

情報を得るときの話の聞き出し方を学びました。



イラストを担当した浜田来未さん(左)、コースを走った富樫乙華さん(右)

ボランティア局員のメンバーは10人ほどですが、活動内容により参加者を募ります。サイクリングマップの制作には、20人以上の生徒がイラストやコメントの作成に関わりました。東コースは坂道が多く大変でしたが、果樹園で食べたアイスが余計においしく感じられ、走る人の気持ちが変わってよかったです。マップを作ったことで、余市にはおしゃれなカフェや美しい景色がいっぱいあることを知りました。個人的なおすめは、海に夕日が落ちる景色。輝くような大麦畑やトウキビ畑も美しいです。

道庁学事課 TEL.011-204-5066



自転車に乗り、実際のコースを確認

地域情報

北海道の各地域から話題をお届けします。



函館市 世界遺産や国宝の縄文文化に触れてみませんか

函館市縄文文化交流センターは、世界文化遺産に登録されている史跡跡ノ鳥遺跡に隣接しており、国宝「中空土偶」などの縄文時代の遺物を展示。さまざまな体験メニューで縄文文化を楽しく学ぶことができます。

問い合わせ先／函館市縄文文化交流センター
TEL.0138-25-2030

蘭越町 ことしもおいしい「らんこし米」ができました

夏は温暖で、昼夜の気温差も大きく、米作りに最適な環境の蘭越町。尻別川のほとりに開ける豊かな大地で実った「らんこし米」は、一粒一粒に天の恵みを受け、質も味も最高ランクの評価を得ています。ぜひ、ご賞味ください。

問い合わせ先／蘭越町農林水産課
TEL.0136-55-6517

アドベンチャートラベル・ワールドサミット ATWS通信

ATWS北海道実行委員会事務局
TEL.011-206-6944

世界64カ国が参加した 「アドベンチャートラベル・ ワールドサミット北海道・ 日本(ATWS2023)」

9月11~14日に、アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道・日本(ATWS2023)がアジアで初めてリアル開催され、世界64カ国から750人以上のAT業界関係者が参加しました。今回のサミットでは、体験ツアーや商談会を通じて、世界各国から参加した皆さんに道内各地の魅力を感じていただきました。道内の関係者も、海外での経験や貴重な情報を参加者から得ることで、今後の取り組みに弾みが付くなど、今回のサミットは大きな効果をもたらしました。主催したアドベンチャートラベル業界団体「Adventure Travel Trade Association(ATTA)」とATWS北海道実行委員会では、共同声明を発出。引き続き、世界的なATの適地として北海道をアピールできるよう取り組んでいきます。



体験ツアー



商談会



北海道ATサイト

共同声明について